

令和3年度

第2次糸島市環境基本計画
進捗状況

○第2次糸島市環境基本計画の進捗状況集計表（令和3年度実績）

令和3年度の計画の進捗状況について、27の計画指標ごとに点検・評価を行いました。

■評価基準

- A 達成率80%以上
- B 達成率60%以上80%未満
- C 達成率40%以上60%未満
- D 達成率20%以上40%未満
- E 達成率20%未満
- F 未着手（評価不可）

※目標が「開催有無」のような場合に限り、「有」は達成率100%、「無」は達成率20%未満として扱います。

【目標ごとの評価集計】

	計画 指標 数	A	B	C	D	E	—
1. 地球環境にやさしい生活を実践する	6	5	1	0	0	0	0
2. 豊かな自然を守り育てる	9	7	0	0	0	2	0
3. 快適で住みやすい生活環境をつくる	9	8	0	0	1	0	0
4. 協働で環境づくりに取り組む	3	2	0	0	0	1	0
合 計	27	22	1	0	1	3	0
	100%	81.5%	3.7%	0.0%	3.7%	11.1%	

目標別の計画指標一覧

■目標1:地球にやさしい生活を実践する

(第2次糸島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

1-1 再生可能エネルギーの普及推進		
	計 画 指 標	所 管 課
1	住宅用太陽光発電買取件数	環境政策課
2	公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数	公共施設管理課 環境政策課

1-2 低炭素型都市基盤の整備及び保全		
	計 画 指 標	所 管 課
1	新規防犯灯のLED導入基数	危機管理課
2	糸島市内の二酸化炭素排出量	環境政策課
3	公共施設等の二酸化炭素排出量	公共施設管理課
4	バス利用者数	コミュニティ推進課

■目標2:豊かな自然を守り育てる(糸島市生物多様性地域戦略)

2-1 多様な自然環境の保全		
	計 画 指 標	所 管 課
1	荒廃森林整備面積	水産林務課
2	広葉樹の森の整備面積	水産林務課
3	河川の平均BOD値	環境政策課
4	中山間地域等直接支払事業取り組み集落数	農業振興課

2-2 豊かな自然の再生		
	計 画 指 標	所 管 課
1	汚水処理人口普及率	下水道課
2	森林の間伐面積	水産林務課
3	松林保全アダプト制度の登録団体数	水産林務課

2-3 生物多様性の保全		
	計 画 指 標	所 管 課
1	環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数	環境政策課
2	市単独自然観察会開催の有無	環境政策課

■目標3:快適で住みやすい生活環境をつくる

3-1 地域美化の推進		
	計 画 指 標	所 管 課
1	環境美化活動への参加者数	環境政策課
2	市の環境パトロールごみ回収量	環境政策課
3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	環境政策課
4	動物愛護に関する啓発記事の掲載	環境政策課
5	あき地管理に関する指導件数	環境政策課

3-2 生活環境の保全		
	計 画 指 標	所 管 課
1	野焼きの苦情件数	環境政策課

3-3 循環型社会の形成		
	計 画 指 標	所 管 課
1	クリーンセンターへのごみ搬入量	環境政策課
2	市民の1人1日当たりのごみの排出量	環境政策課
3	ごみの資源化率	環境政策課

■目標4:協働で環境づくりに取り組む

4-1 協働の仕組みづくり		
	計 画 指 標	所 管 課
1	出前講座等の学習会参加者数	環境政策課

4-2 環境情報の共有		
	計 画 指 標	所 管 課
1	環境情報サイトの新着情報数	環境政策課

4-3 人材の育成と活用		
	計 画 指 標	所 管 課
1	環境ボランティアネットワーク加入団体数	環境政策課

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標1:地球環境にやさしい生活を実践する
 (第2次系島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

■施策の方針 1-1 再生可能エネルギーの普及推進

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	住宅用太陽光発電 買取件数	4,020件	4,312件	4,459件	4,606件	4,753件	4,900件	基準値より 20%増	4,401件	102.0%	89.8%	●令和2年度から家庭用太陽光 発電設備及び家庭用燃料電池の 設置に対し、創エネルギーのま ち・いとしま推進補助金を交付 している。	●令和3年度は補助金を64件交 付した。 ・太陽光発電設備補助62件 ・家庭用燃料電池補助2件 ●糸島市地域再生可能エネル ギー導入戦略を策定し、さらに 再エネ発電量の増加と二酸化炭 素削減につながる施策について 調査・検討した。	●環境省補助金等を活用し、太 陽光発電設備等の普及促進を図 る。 ●再エネ発電量の増加とともに 二酸化炭素削減につながるよ う、エネルギーの自家消費、地 産地消を高める事業を行う。	A	環境政策課
2	公共施設へのク リーンエネルギー 及び省エネ設備導 入施設数	36施設	38施設	40施設	42施設	44施設	46施設	基準値より 10件増	38施設	100.0%	82.6%	●公共施設への太陽光発電設置 や省エネ設備の導入を順次進め ている。 ●建築年が古く太陽光発電の設 置が困難な公共施設や、平成30 年度に太陽光設置可能性調査を 行っていない施設について、検 討が必要である。	●福吉CCにおいて太陽光発電設 備を設置した。(再エネ設置施 設:21施設) ●桜野CCにおいて照明機器のLED 化を実施した。(LED化施設:17 施設) ●新庁舎における地中熱の基本 設計を実施した。	●今後も経産省のエネルギー構 造高度化・転換理解促進事業補 助金等を活用しながら、太陽光 発電や省エネ設備の導入を続け る。 ●平成30年度の太陽光設置可能 性調査を行っていない施設につ いて、あらためて調査の実施を 検討する。	A	公共施設管理課 環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標1:地球環境にやさしい生活を実践する
 (第2次系島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

■施策の方針 1-2 低炭素型都市基盤の整備及び保全

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	新規防犯灯のLED 導入基数	110基	110基	220基	330基	440基	550基	毎年110基 増	96基	87.2%	17.4%	●新規設置・寄附により防犯灯 を設置している。	●96基の新規防犯灯を設置し た。 ●実施計画事業(LED転換事 業)、修繕まで含めると、令和 3年度は1,114基の防犯灯につ いてLED化を行った。	●地域の安全安心の向上、犯罪 抑止とともに、二酸化炭素排出 削減を目的として、今後も新規 防犯灯はLEDを導入していく。	A	危機管理課
2	糸島市内の二酸化 炭素排出量	546千トン (H29年度)	537千トン	528千トン	520千トン	512千トン	504千トン	毎年1.5% 減	453千トン (R1年度)	115.7%	110.2%	●省エネ等に関する広報やホーム ページへの記事掲載、イベン トでの啓発活動を行っている。 ●太陽光発電を中心とする再エ ネ導入を促進し、二酸化炭素排 出削減に進めている。	●広報やホームページに掲載し たが、新型コロナウイルス感染 拡大により啓発イベントを実施 できなかった。 ●電力使用に伴う二酸化炭素排 出量を削減するため、太陽光発 電の促進を実施。福吉CC、加布 里CCに設置したほか、市民に対 して設置補助を行った。 ※環境省が公表している市町村 別の二酸化炭素排出量の最新 データが令和元年度であるた め、その数値により評価しまし た。	●引き続き、2030年の二酸化炭 素排出量46%削減と2050年の カーボンニュートラル実現に向 け、現在の技術で可能な対策を 事業化することで、二酸化炭素 の排出量を削減していく。	A	環境政策課
3	公共施設等の二酸 化炭素排出量	14,647トン	14,396トン	14,272トン	14,148トン	14,024トン	13,900トン	基準値よ り 5%減	15,187トン	94.6%	90.8%	●二酸化炭素排出量は、基準値 と比較して約3%増加、前年度と 比較して約0.2%減少した。 ●令和2年度に対象施設が増加 したことにより、二酸化炭素排 出量が増加している。	●共通行動計画に基づき、全公 共施設の冷暖房の温度管理を徹 底し、経費の削減と二酸化炭素 排出量の削減に努めた。	●再生可能エネルギー導入計画 に基づき、公共施設への再生可 能エネルギー設備の導入促進を 図り、二酸化炭素排出量の抑制 を図る。	A	公共施設管理課
4	バス利用者数	435,721人	444,000人	450,000人	456,000人	463,000人	470,000人	基準値よ り 8%増	324,379人	73.0%	69.0%	●新型コロナウイルス感染拡大 の影響を受け、当初目標設定時 よりも大幅に利用者が減少し た。 ●令和2年度に比べ、令和3年 度は約17%回復したが、令和元 年度の74%程度である。	●令和3年10月よりオンデマン ドバスを本格運行し、重複路線 の見直しなどにより、効率的な 運行と利便性向上を実施してい る。	●オンデマンドバスの運行エリ アの拡大や路線の見直し等によ り、利用者の回復を図る。	B	コミュニティ 推進課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-1 多様な自然環境の保全

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	荒廃森林整備面積	1,792ha	1,872ha	1,952ha	2,032ha	2,112ha	2,192ha	毎年80ha 増	1,883ha	100.5%	85.9%	●木材価格の長期低迷により林業経営の採算性が悪化し、森林所有者の林業に対する関心は低下しており、林業の担い手の減少や高齢化により、間伐等の森林整備が遅れている。福岡県の森林環境税を活用しながら、順次、荒廃した森林の整備を実施し、健全な森林づくりを進めている。	●福岡県の森林環境税を活用した間伐等、104.94haの森林整備を実施した。	●森林環境税を活用しながら、水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ多面的機能を発揮させるため、荒廃森林の整備を進めていく。 ●現在、糸島型森林再生プロジェクトを立ち上げ、森林施業のサイクルの復活のために、森林保全の担い手育成、糸島産材の活用促進について取り組んでいる。 ●間伐材等の貯木場「伊都山燦」の活用により、間伐材の利用を促進する。	A	水産林務課
2	広葉樹の森の整備面積	62,380㎡	63,180㎡	63,980㎡	64,780㎡	65,580㎡	66,380㎡	毎年800㎡ 増	72,180㎡	114.2%	108.7%	●竹が隣接した森林に侵入・拡大し、荒廃している森林や樹木が枯死している森林等、森林としての公益的機能が低下しており、放置すれば公益的機能が損なわれるおそれがある箇所において広葉樹を植栽し、森林の再生を進めている。	●瑞梅寺ダムの水源地内で侵入竹林を伐採し、広葉樹苗の植樹(1,400㎡)を実施した。 ●真子木の香ランド周辺において計画していた植樹祭は、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。(令和元～3年度中止) ●ボランティア団体などにより、二丈福井において植樹を	●水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ公益的機能の向上のため、毎年植樹祭や瑞梅寺ダム上流部の竹転等を行い広葉樹の森の整備を進める。	A	水産林務課
3	河川の平均BOD値	0.94mg/ℓ	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下 維持	2.23mg/ℓ	0.0%	0.0%	●公共下水道や農業集落排水の整備、合併処理浄化槽の普及により、変動はあるものの徐々に水質は改善している。 ●令和3年度の結果は目標値である2.0mg/ℓを超過した。調査地点の水の流量の減少等により生活排水の影響が強く出たのではないかと考えられる。また、近隣で工事が行われていた調査地点があり、影響を受けた可能性がある。	●河川調査地点58箇所、環境基準の生活環境項目であるBOD値の検査を実施した。	●快適な生活環境を確保するため、今後も継続して監視を行う。 ●顕著な水質悪化が継続して見られる場合は、原因調査や対応について管理者と対応を検討する。	E	環境政策課
4	中山間地域等直接 支払事業取り組み 集落数	18集落	18集落	18集落	18集落	18集落	18集落	18集落 維持	18集落	100.0%	100.0%	●18集落・382人により、市内約221haの農地(田畑)の保全がなされている。	●集落共同活動により、水路や農地周辺の草刈り、景観作物の作付、農道改修、水路改修、法面の点検・補修等を実施した。	●今後も、中山間地域における農地の適正維持活動により、耕作放棄地の再生と発生の予防、多面的機能の維持などを継続して行う。	A	農業振興課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-2 豊かな自然の再生

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	汚水処理人口普及率	90.4%	90.5%	90.6%	90.6%	90.7%	90.7%	基準値より 0.3%増	91.3%	100.8%	100.6%	●各事業を計画的に整備(工事)することにより、処理人口が増加している。 ①公共下水道事業 ②合併処理浄化槽設置整備事業	●各事業の整備(工事)を行った。 ①公共下水道事業 ②合併処理浄化槽設置整備事業	●今後も、都市基盤の充実、快適な農山村生活の充実、河川やため池などの水環境保全のため、計画的に事業を推進していく。 ※事業の進捗状況を考慮し、R4以降の目標値を今後修正する予定です。	A	下水道課
2	森林の間伐面積	990ha	1,160ha	1,330ha	1,500ha	1,670ha	1,840ha	毎年170ha増	1,028ha	88.6%	55.8%	●糸島型森林再生プロジェクトにより、市の林業振興補助金等で補助しながら、間伐などの森林整備を行っている。 ●糸島型森林再生プロジェクト事業として、間伐材等搬出補助金制度を利用し、間伐材等の未利用材の利用促進を図っている。 ●森林組合に対して、間伐材の収集運搬用機械(グラップル・フォワード)の購入補助を行い、作業効率の軽減や危険防止などを図っている。 ●林環境譲与税基金運営事業により、市有林の間伐等の森林整備を行っている。	●市の林業振興補助金等(水源保全基金運営事業及び森林整備事業)による間伐により、21.75haの森林整備を進めた。 ●森林環境譲与税基金運営事業により、間伐9.38haの森林整備を進めた。	●間伐作業は、国・県の補助事業を活用し、水源涵養機能の保全、土砂災害防止等の多面的機能向上のために取り組みを進めていく。 ●間伐材等搬出補助金制度や貯木場「伊都山燦」を活用しながら、自ら保有する山を自ら管理する「自伐林家」の育成にも努めていく。 ●森林環境譲与税を活用し、市有林等の民有林において、間伐等による森林整備を進めていく。	A	水産林務課
3	松林保全アダプト制度の登録団体数	14団体	16団体	17団体	18団体	19団体	20団体	毎年1団体増	15団体	93.7%	75.0%	●松枯れの被害が平成22年から増加し、平成24年には甚大な被害となり、松林の保全のため、薬剤の散布や駆除を継続して実施している。 ●松林保全のためアダプト制度による松林の清掃・美化活動を推進し、白砂青松の再生に取り組んでいる。	●アダプト登録団体により、福井ノ浜、幣ノ浜及び野北浜で、48,800㎡の松林の清掃・美化活動を実施された。	●地域の活動団体、学校及び大手企業などにアプローチし、登録団体数を増加させ松林の保全区域に取り組むことにより、松林の持つ公益的機能の回復に努める。	A	水産林務課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-3 生物多様性の保全

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数	年間0件	年間3件	年間3件	年間3件	年間3件	年間3件	基準値より 3件増	年間7件	233.3%	233.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年3月に生物多様性地域戦略を策定した。 ●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●生物多様性に関する啓発活動を行い、環境への意識改革を促す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報に記事を年3回掲載した。 ●市ホームページに生物多様性に関する内容4項目を新設した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も生物多様性に関する内容について、広報での定期記事掲載及びホームページによる情報発信を行っていく。 	A	環境政策課
2	市単独自然観察会開催の有無	開催無し	開催有り	開催有り	開催有り	開催有り	開催有り	開催の有無	無	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年3月に生物多様性地域戦略を策定した。 ●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●自然環境に対する市民の興味・関心を引き出していくことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市単独の自然観察会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。 ●九州大学との連携研究により長野川の生物調査を実施。長野川に生息している生きもの簡易図鑑やクリアファイルを作成し、市民の興味・関心を引き出す取り組みを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、新型コロナウイルス感染拡大対策等を講じながら自然観察会を開催できるよう検討するとともに、市民の自然環境に対する興味・関心を引き出せる事業を行う。 	E	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-1 環境美化の推進

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	環境美化活動への参加者数	46,853人	48,000人	48,000人	48,000人	48,000人	48,000人	基準値より 2.5%増	18,121人	37.7%	37.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の生活環境の向上を図るため、地域の環境美化活動を推進する。 ●市民へ周知し、各行政区や隣組単位で地域の清掃活動を実施してもらっている。 ●行政区だけでなく、個人や団体により、年間を通して市内の清掃活動が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、参加者数が例年に比べ大幅に少なかった。 ●参加者数 春季：9,508人、秋季：8,613人 (対前年度比7,635人の減少) 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境美化活動は、身近な生活環境が保全されることや地域のコミュニティの向上にもつながる等、様々な効果があるため、今後も継続する必要がある。 ●参加者不足や高齢化により作業範囲が限られる地域もあるため、できる範囲の作業で協力いただく。 ●対応できない水路等は、市へ相談していただく。 	D	環境政策課
2	市の環境パトロールごみ回収量	125トン	124トン	123トン	122トン	121トン	120トン	毎年1トン減	103トン	117.0%	114.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●不法投棄の通報による回収だけでなく、地域や団体、個人等の環境美化活動により、ポイ捨てゴミや地域の草刈りで出た草等の回収、海岸漂着物の回収を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公社)糸島市シルバー人材センターと(社福)香月福祉会MUKAに不法投棄防止監視パトロール業務を委託。海岸漂着物や不法投棄物、環境美化活動でのゴミ等を回収した。 ●不法投棄が頻発する行政区等でチラシを作成し、回覧を行った。 ●林道第2雷山浮嶽線に不法投棄監視カメラを設置した。 ●主な不法投棄物の回収件数 テレビ：13台 冷蔵庫：20台 	<ul style="list-style-type: none"> ●不法投棄が後を絶たず、年々増加傾向にある。年間を通じた環境パトロールと合わせ、市民や事業者、地域、不法投棄監視ネットワーク等との協働により不法投棄監視を継続する。 ●今後も広報やホームページを活用しながら、不法投棄防止の啓発を行っていく。 	A	環境政策課
3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	24団体	26団体	27団体	28団体	29団体	30団体	基準値より 6団体増	24団体	92.3%	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●広報やホームページを活用し、協力団体を募集している。 ●地域の実情に詳しい行政区長にも、不法投棄を発見した際に通報をお願いしている。 ●依然として不法投棄が多い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報やホームページで協力事業者を募集した。 ●協力団体事業所に、登録事項の変更の有無・協定内容の確認等を行い、ネットワークの強化を図った。 ●不法投棄監視のネットワーク拡充のため、ボランティア団体や行政区の希望者に不法投棄監視ステッカーを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も協力団体を拡大させるため、広報やホームページでの周知、商工会や各種団体への訪問等で募集活動を行っていく。 	A	環境政策課
4	動物愛護に関する啓発記事の掲載	年間2回	年間2回	年間2回	年間3回	年間3回	年間3回	基準値より 1回増	年間5回	250.0%	166.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●愛護動物（犬・猫等）に対する苦情・相談が年間を通して後を絶たず、特に近年は猫に対する苦情・相談が増加している。 ●飼い主の適正な飼養の啓発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報に飼い主の適正飼養啓発記事を5回掲載。 ●飼い主のマナーアップキャンペーンを2回実施し、動物の適正飼養について啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も福岡県糸島保健福祉事務所と連携しながら広報、ホームページで情報発信を行っていく。 	A	環境政策課
5	あき地管理に関する指導件数	278件	260件	250件	240件	230件	220件	基準値より 20%減	251件	103.5%	86.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民からの相談が6月から10月頃を中心に多く寄せられている。 ●市からの指導がなければ雑草の除去を行わない等、土地の管理について受動的な所有者が多く課題である。 ●複数回指導しても対応しない土地所有者もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●あき地条例該当154件、市民相談該当97件（対前年度比40件減少） ●過去に指導歴のある土地の所有者等110名に対し、雑草除去依頼文書を5月に一斉送付した。 ●個別の相談に基づき、土地の所有者等に対して雑草除去等を指導する文書を送付した。 ●複数回の相談者には無料法律相談を案内した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●土地の所有者等に対し、定期的な雑草除去と併せて自主的な土地の適正管理を促していく。 ●相談があった土地については、随時指導等を継続して行う。 	A	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-2 生活環境の保全

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	野焼きの苦情件数	35件	32件	30件	28件	26件	24件	基準値より 30%減	29件	109.4%	79.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●庭木の枝、雑草、家庭菜園で出た植物性の廃棄物等の焼却行為は、後を絶たない状況である。 ●住宅地域付近の田畑で、焼却禁止の例外とされる農業関連の廃棄物の焼却行為に関する苦情が多い。 ●農業を営むための焼却行為は、JA糸島や市の関係部署を通じて、周辺地域に配慮しながら焼却してもらうよう、お願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●野焼き禁止に関する記事を広報に掲載し、周知を図った。 ●個別の苦情に対しては、現地で指導した。 ●野焼きにより火災が発生した場合は、発生した地域において本課と消防署の連名でチラシを回覧し、再発防止に取り組んだ。 ●悪質なケースや事業者による廃棄物焼却については、糸島警察署と福岡県筑紫保健福祉環境事務所等と連携し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●野焼きに関する市民の理解を深め、広報やホームページ、回覧チラシ等を活用して、引き続き市民に周知を行っていく。 ●野焼きの通報に対する対応等について、消防署との連携が円滑に進むよう、検討を行う。 	A	環境政策課

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-3 循環型社会の形成

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	クリーンセンター へのごみ搬入量	33,216トン	33,564トン	33,565トン	33,566トン	33,567トン	33,568トン	1人1日1% 減×人口 見込数	32,843トン	102.2%	102.2%	●家庭系ごみの搬入量はR2年度の27,613tからR3年度の26,612tと1,001t減少した。 ●事業系ごみの搬入量は、R2年度の4,996tからR3年度の4,818tと178t減少。	●例年、校区文化祭や出前講座等でごみ減量の啓発を行っているが、R3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。 ●令和3年度より市外で発生したごみの搬入を防ぐため、搬入時にごみ発生場所及び本人確認を実施している。	●各種イベントは実施できなかったが、今後も家庭系ごみ減量の推進と事業系ごみの減量のために周知を行っていく。 ●ごみ減量化に向けて、出前講座の開催や広報、ホームページなどで啓発を継続して行っていく。	A	環境政策課
2	市民の1人1日当 たりのごみの排出 量	937g	936g	934g	932g	930g	928g	基準値よ り 1%減	905g	103.4%	102.5%	●「有価資源回収活動奨励補助金」「資源集積倉庫等設置補助金」による紙の資源化及び「ごみ減量化器材購入補助金」による生ごみの減量を推進している。	●対前年度比25gの増加。 ●有価資源回収活動奨励補助金 845,485kg 3,381,940円	●紙類、特に「雑がみ」の資源化を推進する。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のためにできなかった出前講座やイベントを少しずつ再開し、ごみ減量の啓発に努める。	A	環境政策課
3	ごみの資源化率	25.1%	25.3%	25.5%	25.7%	25.9%	26.0%	基準値よ り 1%増	24.2%	95.6%	93.0%	●リサイクルセンターにおける不燃ごみの資源化、市民による有価資源回収活動及び牛乳パック・食品トレイ回収等の資源化に取り組んでいる。	●対前年度比1.5%の減。 ●クリーンセンター資源化量 …7,046トン ●資源（集団）回収量 …901トン	●今後も、ごみ分別の徹底と資源回収拠点を窓口やホームページ等で市民に知らせていく。 ●携帯電話、インクカートリッジ、小型充電式電池など再資源化できるものについて回収ボックスを設置し、資源化に向けて市民に啓発を行っていく。	A	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-1 協働の仕組みづくり

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	出前講座等の学習 会参加者数	2,404人	2,452人	2,501人	2,551人	2,602人	2,654人	毎年2%増	120人	4.8%	4.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみ減量やリサイクルの推進等について、市民の知識や理解を深める必要がある。 ●出前講座や市民まつり、校区文化祭、クリーンセンターの見学等により、ごみ減量やリサイクルの推進に関する啓発を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大防止により、イベントが中止になり、啓発イベントは実施できなかった。また、出前講座は1回のみ開催となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、出前講座やイベント等を通し、ごみの減量について啓発を行っていく。 	E	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-2 環境情報の共有

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	環境情報サイトの 新規情報掲載数	12件	12件	13件	14件	15件	15件	基準値よ り 3件増	20件	166.6%	133.3%	●市民の環境に対する意識を向上させるきっかけとするため、環境に関する情報をホームページに掲載している。	●環境に関する市の取り組み状況や啓発、イベント等の情報を掲載した。	●目標値を達成したが、今後も市の取り組みやイベント等の情報を、より多く掲載できるように継続して取り組んでいく。	A	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-3 人材の育成と活用

●評価の標語について
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率20%未満とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	R3年度 実績	R3年度 達成率	計画期間 進捗率	現 状	R3年度取組内容	今後の取り組み、方針等	年度 評価	所管課
1	環境ボランティア ネットワーク加入 団体数	17団体	18団体	19団体	20団体	21団体	22団体	基準値よ り 5団体増	19団体	105.5%	86.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●環境ボランティアネットワー クの加入団体を拡大するため、 広報等で周知している。 ●環境ボランティア活動に関す る情報交換会を年1回程度実施し ている。 ●登録団体を支援する事業とし て、活動物資の支給を実施して いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録団体数が1団体増加し、19 団体となった。 ●新型コロナウイルス感染拡大 防止のため情報交換会を中止 し、書面による各団体の情報提 供を行った。 ●登録団体のうち5団体に対 し、物品等を支給した。 ●加入団体拡大のため、広報・ ホームページで募集を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●団体数は徐々に増加している が、一方で散乱ごみ・不法投 棄・海岸漂着ゴミは減少してい るものの、未だに不法投棄の現 状がある。 ●今後も、市民と行政による協 働を継続する必要がある。登録 団体数のより一層の増加をめざ す。 	A	環境政策課

未着手は「未」を入力